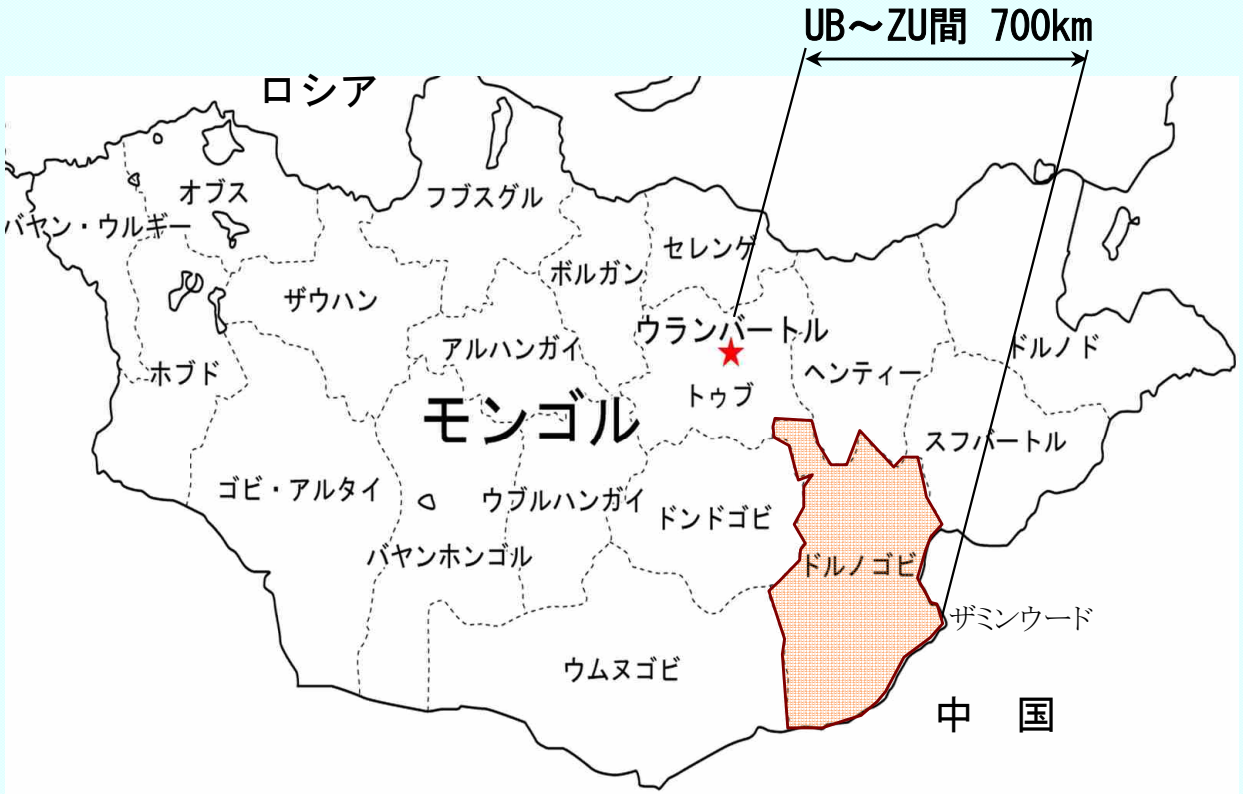
モンゴル国ドルノゴビ県における下水道技術支援
～水環境の改善および保全を目指して～

富国有徳の理想郷－しずおか
ふじのくに

交通基盤部 都市局 生活排水課

ドルノゴビ県の概要



＜ドルノゴビ県＞

・モンゴル国の首都ウランバートルから南東500kmに位置

・県庁所在地　：　サインシャンド郡

・面　　積　：　109,472km2　（静岡県の約14倍）

・人　　口　：　約6万人（静岡県の約60分の1）

・ウランバートルからザミンウード郡（中国国境の街）までは列車で15時間

・2011年7月に本県と友好協定を締結

ドルノゴビ県への技術協力経緯

2011年7月
静岡県とモンゴル国ドルノゴビ県との
友好協定締結

2011.07.29　友好協定締結

2012年～2014年
クレア（(一財)自治体国際化協会）事業
・現地調査、環境教育等の実施

2014.10.01　現地調査

2015年～2017年
ＪＩＣＡ（(独)国際協力機構）事業
・技術者の人材育成等の実施

ドルノゴビ県の下水道運営能力向上プロジェクト・成果

〇計　画　期　間
　2015年～2017年【3年間】
〇事　　業　　費
　2,180万円【ＪＩＣＡ全額負担】

〇ドルノゴビ県技術者の本県への受入研修
2016年　2回・2017年　2回
計4回実施

→ ＞　技術者　２０名を養成

〇本県職員等によるドルノゴビ県での現地研修
2016年　2回・ 2017年　2回
計４回実施

→ ＞ 技術者講習
ドルノゴビ県技術者に加え、
モンゴル全土から技術者８８名が受講

＞ 水環境セミナー（地域住民・学生対象）
実施５回・４００名が参加

職員による研修状況

狩野川東部浄化センターでの技術指導

ドルノゴビ県庁での講義

現地処理場での指導

現地学生への水環境セミナー

研修の成果

モンゴル全土から集まった技術者

受講者の真剣なまなざし

2017年6月受講
ガンツァツァラル氏

2017年6月受講
テキシデルゲル氏

【平成29年9月現地研修】

これまで静岡県の研修を受講したドルノゴビ県技術者が講師となり、現地技術者に講義。

技術者の自立に向けた第一歩となった。

今後の課題

①下水処理場を計画・設計予定である
４地域(イフヘト郡など)の**計画策定**

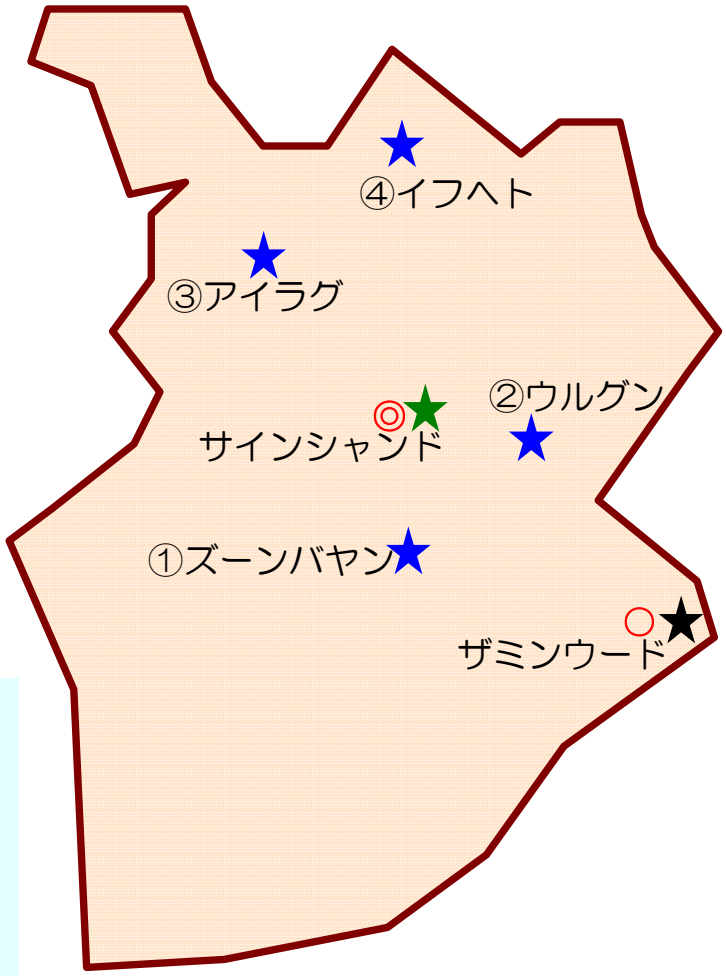
②サインシャンド郡で建設予定の
新下水処理場に係る**施工管理**

③ザミンウード郡で建設済み
未稼働の新処理場の**運転管理**

④モンゴル国内技術者の情報交換を
行う**新たなネットワークの構築**

ドルノゴビ県の汚水処理整備計画

ドルノゴビ県



ドルノゴビ県　4地区の汚水処理整備計画（2016～2020）

	計画地域	人口	現状汚水量	2025汚水量予測
①	ズーンバヤン区	1,929人	100～130m3/日	150m3/日
②	ウルグン郡	1,933人	40～60m3/日	250m3/日
③	アイラグ郡	3,738人	60～80m3/日	250m3/日
④	イフヘト郡	2,077人	120～150m3/日	200m3/日

★ ： 整備済
★ ： 計画・設計済
★ ： 調査・計画中

ズーンバヤン区

①町並み

②ラグーン流入口

③ラグーン

④旧処理場跡

ウルグン郡

①ラグーン流入口

②ラグーン流入水路

③ラグーン

アイラグ郡

①町並み

②ラグーン流入口

③ラグーン流入水路

④ラグーン

イフヘト郡

①町並み

②ラグーン流入口（旧処理場跡）

③ラグーン流入水路

④ラグーン

次期プロジェクトの継続支援の要請

ドルノゴビ県知事から川勝知事にH30以降の技術支援継続の要請

2018.02.20
静岡県庁

本県としてプロジェクトの継続についてJICAと協議

中小企業の優れた技術･製品をモンゴル下水道の発展に！

JICA事業を活用した事業展開（一例）

中小企業海外展開支援事業の活用

①普及・実証事業

途上国の社会経済の課題解決に活用し得る中小企業の製品・技術を当該国での現地適合性を検証するための実証活動を通じ、その普及方法を検討する。
（実施期間1～3年、事業経費1件1億円（大規模や高度な案件は1.5億円）

②民間技術普及促進事業

日本での視察や現地でのセミナー、実証活動等を通じて、途上国へ民間企業が持つ優れた製品、技術、システムの理解を促し、導入・普及したい。
（実施期間2年、事業経費1件2千万円（上限）

海外ボランティア

・青年海外協力隊：20～39歳、シニア海外ボランティア：40～69歳

ドルノゴビ県の下水処理場の適切な運転、維持管理に向けて技術指導を！

～友好の絆をさらに深く～

ドルノゴビ県サインシャンド郡